

大津市立皇子が丘保育園

日時：2014年7月17日（木）13:30-17:00

2014年7月23日（水）9:00-16:00

場所：大津市皇子が丘1-20-2-20

JR大津京駅に近く、子どもたちは比較的都市の生活をしていますが、近江神宮や皇子山公園など近くの自然を利用しやすい皇子が丘保育園。今回は近江神宮の森で、夏の自然を活かしたプログラムを作成しました。

（対象：4歳児 計30名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

保育者の方々の自然体験や経験も様々・・・

Q：ダンゴムシに触れる人は？ A：全員

Q：カエルに触れる人は？ A：3名

Q：魚を捕まえられる人は？ A：4名

- ・子どもの頃に自然とたっぴり触れ合った方、ほとんどそういった経験がなかった方もおられます。
- ・この研修を通して、自然に触れることへの不安や抵抗をなくして、逆に「楽しい」「おもしろい」「不思議だ」という思いを持ち、子どもたちと共有して欲しい。



森で、羽化前のセミの幼虫を見つけました！ルーペで観察して、その発見がプログラムづくりにつながりました。



6人のグループで、何本の木を囲めるかな？木が生えている状況をよく観察して、手や足を伸ばして、囲みました。8本の木を囲めました



ミンミンタッチ

～わたしもぼくもみんなセミ～

まずは耳を澄ませて、音を聞いてみます。すると、いろんなセミの音が聞こえました。セミの抜け殻や羽を見つけたあと、セミの絵本を森の中で読みました。セミの生態を知った子どもたちは、地面にたくさんの穴が開いていることに気づきました。最後は、みんながセミに変身して、カラスに追いかけてられます。つかまったセミは、友だちのセミにタッチしてもらえらるミンミンタッチゲームをしました。

セミになりきってみよう！
羽を広げて飛んだよ！
ミンミン、ミンミン



木に引っ付いてるセミになったよ。



この穴は何か？もしかしたら、セミの幼虫がでてくる穴かも。



セミの絵本で、生態を知りました。

ミンミンタッチゲーム
みんな、セミになってカラス（保育者）から逃げるぞー



葉っぱとお友だちになろう！！

近江神宮にある葉っぱ。たくさん集めて、山をつくろう！
葉っぱプールで飛んだり跳ねたり、寝っ転がったり。葉っぱって楽しいね。たくさんある葉っぱだけど、ひとつは全然違う。大好きな葉っぱを1枚見つけよう。最後は宝の葉っぱを見つける葉っぱの遊びです。

葉っぱじゃんけん、じゃんけんホイ。勝ったら葉っぱをもらえるよ。



葉っぱをたくさん集めよう！
あっちにも、こっちにも葉っぱが落ちてるよ。
僕も私もたくさん持ってきたよ。

葉っぱをお空に向かって、ワー！！
葉っぱの雨が降ってるみたいだあ！



宝物の葉っぱが見つかったよ！葉っぱには、ハートやダイヤ、スパーード、クローバーの型が押しあてられているよ。



プログラムを終えてのふりかえりから

- ・絵本の体験をそのまま自然の体験につなげられた。
- ・セミの成虫だけでなく、卵や幼虫などの存在を知った。
- ・子どものつぶやきが多かった。それを一つひとつ拾ってあげると、子どもの気づきが増える。子どものつぶやきを拾い上げ、それに適切な言葉を返すことが大事だ。
- ・保育者がどこに目的を持つかで、体験できること、伝えることが変わることを知った。
- ・何気なく通り過ぎてしまう所だが、よく見ると葉っぱの違いが分かり、楽しめる活動であった。
- ・子どものつぶやきから、メッセージがよく伝わっていると感じた。
- ・子どもが無我夢中で宝物となる葉っぱを探していた。
- ・自然への恐怖心がなくなりつつある自分の変化に気づいた。
- ・暑い夏にどの程度集中できるか不安であったが、夏は夏の自然の面白さがあり子どもたちがじっくり遊んでいた。経験を保育に活かしていきたい。
- ・自然に一つひとつ意味があることを知った。子どもたちに遊びを通じて楽しんでもらいたい。異年齢での保育に活かしたい。